

2019年6月28日

2019年定時総会 事前質問 回答

総務／事務局 関連

質問：代議員の改選があり、任命書が事務局より送付されてきたが、2019年度より三つ折りになって定型郵便にて送付されてきた。

会社でいえば、辞令等に値するべきものと考えます。その大事な任命書を、三つ折りで送付された利用をご教示いただきたい。

従前は、A4の封筒で送付されてきておりましたが、経費節減のためだけに定型郵便に変更したのではないのでしょうか。代議員の扱いについて軽視していると考えます。

濱道代議員

回答：総務担当変更による引き継の不足により発生いたしました。代議員を軽視しているとの指摘には全く当たらないことを申し添えます。次回以降誤解を招かない対処を致します。

質問：時間切れによる質疑打ち切りや発言漏れが生じることなく、総会を充実したものにして頂きたく総会後の講演会の取り止め（行うのであれば、別件行事として分離）を提案しましたが、意見を反映して頂き感謝致します。

時間が許す限り、口頭質疑を打ち切ることなく、誰もが納得できる充実した総会にして頂きたいと思います。

昨年の総会に於いて、事前質問廃止の意見が挙がりましたが、口頭でのやり取りのみとなり、例年の質問・意見の件数から勘案すると、総会に費やす時間が増えても大幅な時間のロスが考えられ、発言者の真意に沿った確実な記録が求められると共に、記録者に多大な責任と負担を強いることになるかと思われます。事前質問により書面として残した方が確実であり、議論の進展が期待できると思います

原 代議員

回答：総会についてのご意見、ありがとうございます。事前質問廃止については当面内容を簡略化しつつ継続する方向で考えています。

質問：正会員会費のうち銀行自動引き通しによる納入状況を、本部事務局に書面で問い合わせましたが、1カ月近く返信がなく、改めて電話で問い合わせることになりました。

本部事務局が忙しいことは重々承知しておりますが、支部運営上不可欠な照会ですので、遅滞なく、確実に対応していただきますよう、お願いします。

藤岡代議員

回答：お叱り承ります。新事務局担当不慣れのため今後善処いたします。

質問：事前質問の趣旨とかみ合わない回答が散見されます。代議員の疑問が解消されな
いまま、再質問の機会もないのが現状です。事前質問については、双方向性を担保する
あり方を検討してください。 藤岡代議員

回答：ご意見ありがとうございます。

質問：本部総会の出欠の締め切りは、本部総会の約3週間前（本年度は6月17日）と
なっていますが、仕事の都合などで、その時点では出席できるか判断しかねる代議員も
少なくないと思われます。事前質問の締め切りは、回答作成の都合上、現行通りで構い
ませんが、本部総会出欠の締め切りは、1週間前などに延ばしていただけると幸いです。
藤岡代議員

回答：来年度より実施を検討いたします。

経理関連

質問：行事費の執行率がかなり低いですが、関係者が立て替えたまま未払いになっているケ
ースはありませんか。また、一行事あたりいくら、という具合に、行事費の概算払いを
検討してもよいのでは。 平野代議員

回答 行事費の未払いについては、発生しておりません。

質問：前年度の赤字の影響もあって、当座比率については改善の余地があるものの、自
己資本比率・流動比率・固定比率・固定長期適合比率・負債比率・経常収支比率・現金
比率については前年度よりも健全化の方向にあり、運営努力に謝意を表するとともに、
今後予想される備品等の更新に伴い、どの程度の影響が見込まれるか伺います。
平野代議員

回答 事務局の備品については、都度状況により対応しております。

質問：実績に基づき行事費を削っていると思われませんが、概算払いを検討の上、年間予
定行事数を乗じて算出することを検討してもよいかと考えます。 平野代議員

回答：予算案は、昨年度の実績をもとに策定しております。

質問：支部活動費という科目を創設したことは評価できるが、予算額ゼロの真意はどこにあるのか教示されたい
中村代議員

回答 年間で上限を設ける性格のものではないことから、予算案では0としております。支部からの依頼を受け、理事会で検討しております。

質問：ゆうちょ銀行において、4/1より自動払込の料金改定（25円→54円）、振替用紙による会費の払い込み料金改定が、（ATM：80円→150円、窓口130円→200円）があったが、予算的な処置はされているのでしょうか。
また、この機会にクレジットによる会費徴収・コンビニ併用方式による会費徴収も検討が必要ではないでしょうか。 濱道代議員

回答 振込費用は事務局費の中で支出していますが、収入の大部分は会費ですので、是非会員増加にご協力をお願いいたします。
クレジットカード等での会費支払いは、一件当たりのコストや事務負担の大幅な増加となることから、対応しておりません。

事業関連

質問：一般行事17件のうち、抽選となった行事はいくつありましたか。ニーズの参考としたいため、お伺いします。
平野代議員

回答 4件です。新車や特急型車両の撮影会などでは特に人気が高いようです。

回答 BL担当

B賞L賞に関しましては抽選になったケースはありませんでした。なお、募集人員を上回った松本でのE353系L賞つきましては、JR東日本長野支社にお願いし、全員参加することができました。

質問：2018年度第4回理事会開催議事録に以下の記録があった。

以下抜粋

（4）撮影会等の行事における地元支部等との調整について
鉄道事業者に迷惑を掛けることについては避けなければならない。窓口の一本化につい

ては最低限必要。支部間のコミュニケーションの強化を図る。

撮影会における参加者の撮影に対する要求には差異があるため事前に調整が必要。

また、会務推進のためのタイムリーな情報交流のために、支部長、事務局長及び研究会幹事には最低限Eメール等のコミュニケーションツールを準備していただく必要があるとの意見を理事会として理解した。この件の対応策を検討する検討チームを立ち上げる。

2018年度東京地区で本部主催行事（ローレル賞関係は除く）が3回開催されているが、東京支部側になんの連絡もない。今更感が否めないが、最低限開催が決まった段階で連絡をいただいている状態である。上記議事録に基づき適切な運用を期待したい。

濱道代議員

回答 理事会参加者には事前にお知らせしており（理事会やメールなど）、支部長兼務の方は確認されております。

なお、西武試乗会では支部長から本部主催でとの連絡を受けております。

東京支部エリアでは多くの事業者があります。今後も、ぜひご協力をいただきたいと思います。そこで、一昨年より静岡支部・中国支部・九州支部・小田急研究会（北海道支部参加予定）で試験的に行われている行事予定を登録するSNSに参加していただきたいと思います。総会後にご案内予定です。

質問：一般行事の中でNo15とNo16の間に3月3日 西日本鉄道 THE RAIL KITCHEN CHIKUGO 撮影会 筑紫工場 26名が抜けていると思います。兵頭代議員

回答 本部共催行事ではありませんので記載しておりません。

質問：本部開催行事について、参加定員が少なすぎる。

撮影会などについては、タイムリーな企画（新車や引退予定車両）のため、参加希望者多いと思われるが、しかしながら現状では、定員が少ないのは残念だ。

引率する本部関係者が少ないのであれば、開催場所の支部に声をかけ、協力を求めるべきではないか？多くの会員にメリットがあるように考えるべきではないか？

古谷代議員

回答 以前の回答にもありますとおり、事業者の受け入れ態勢が一番の理由です。

本来の業務以外の人を現場に出す余裕や、ヘルメット数などが主な理由かと思われます。本部としてもできる限り多くの会員を参加させたくお願いはしております。

しかし、現場受け入れ自体が厳しくなりつつあり、今後車庫での行事は減少することと予想されます。

回答

6月22日、227系105系撮影会(阪神支部共催58名)担当より回答
参加定員増加には最大限の努力を行っています。

- 1、他行事の集合写真を提示して多人数参加の実績を示す。
- 2、引率スタッフを複数設定し班分けして分散行動する。
- 3、阪神支部所有のヘルメットと反射ベスト10組を借用。
- 4、阪神支部所有の拡声器を使用し伝達事項の徹底を図る。
- 5、2～4の内容を含む行程表を事前に提出して了解を得る。
- 6、参加者用行程表を当日配布し参加者に協力依頼。

などにより今回は全員参加となりました。(当初予定は40名)

質問：6月6日付日本経済新聞8面において、相模鉄道20000系ローレル賞受賞広告が全面掲載されており、投票した一会員としても感無量の思いであった。当会ロゴマークも掲載されており、会員として誇りに感じた。

事前に、事務局などに相談等があったと思料されるがせっかく相模鉄道が新聞に全面広告を掲載しているのだから、同日に鉄道友の会としての広告等は検討できなかったのか。費用面等検討は必要だが、当会をアピールする絶好のチャンスであったことは間違えない。せっかくのチャンスを生かしきれていないのではないか。 濱道代議員

回答 BL 担当

相模鉄道殿よりロゴマーク使用の許諾並びにデータの提供を行いました。6月6日付日本経済新聞8面の全面広告に関して把握していませんでした。従いまして当日に鉄道友の会として対応はできませんでした。今後、ロゴマークの使用掲載方法の確認に努め、受賞会社と連携してPRできるよう検討していきたいと思いません。

質問：E353系L賞贈呈式において、共催支部として大変お世話になりました。事前打ち合わせの中で、担当理事様より他の贈呈式に於いて大変好評だった企画の提案もあり、本部・支部との共催行事として、一体感を持たせたものとなり深く感謝致します。今後も良かった点は水平展開を図って頂きたいと思えます。課題や問題点等ありましたら、ご教示頂ければ幸いです。 原代議員

回答 BL 担当

E353系L賞贈呈式・撮影会では、長野支部殿との事前の打合せを行い、無事終了する

ことができ感謝しております。今後とも BL 賞の贈呈式・撮影会・乗車会等の行事では当該支部殿との綿密な打合せ行い進めていきたいと思いをします。

質問：かねてより、BL 賞の社会的認知度は高いとされているが、残念ながら以前にくらべ、それは限定的になってきていないだろうか。選考結果がマスメディアで取り上げられる機会は減少、あるいは縮小傾向にあるように思う。かつては全国紙に写真入りで掲載されていた時代もあり、今でも新聞、テレビ等の発信力には大きいものがある。一般報道機関へのリリース方法の見直しやセレモニー化など、賞自体の PR を強化してはどうか。

齊藤代議員

回答 BL 担当

BL 賞プレスリリースを東京が国土交通省記者クラブ・交通運輸記者会、大阪が JR 西日本本社内青灯クラブ、名古屋が JR 東海本社内東海交通研究会(本年は未実施)で行っています。このリリース方式は今後とも継続的に実施してまいります。また、鉄道に関連する業界団体の日本鉄道車輛工業会、日本民営鉄道協会へも事前に情報を伝えています。ご指摘の認知度向上の方策としてリリース先を増やす等、リリース方法の改善などを図り、受賞される会社とは密接な連携をとって BL 賞の PR 強化に今後とも努めてまいります。なお、選考結果の取り上げられる機会が減少、縮小しているとのことですが、BL 賞発表当日に鉄道友の会ウェブサイトへ以前より多くのアクセスがあった事、インターネット系鉄道関連サイトで多く取り上げられている点を見ますと速報性の高い媒体での取り上げる機会は増加傾向にあるかと思われまます。今後、新しい媒体での認知度の向上を図っていききたいと思いをします。

質問：B・L 賞の投票者数をどの様に見るかですが、郵便はがきによる投票ではなく、ネット投票にする考えはないのでしょうか。

松嶋代議員

回答 BL 担当

地方支部内の連絡を郵送で行っている支部があると聞いております。そのような環境でのネット投票を実施した場合、投票率の低下が考えられると思われまます。

回答補足 ウェブ上でのネット投票システムはコンテンツの一つとして検討したことがあり、費用を掛ければシステム構築は可能です。しかし、B賞投票は会員全員が参加できる環境とする必要があり、ネット環境の無い、もしくはネットとの親和性が低い会員が相当数存在する現状では、ネット投票に一本化することは現実的ではありません。はがきと併用すると二重投票防止などの事務作業が煩雑化します。

質問：私は理事会からの推薦の代議員ですが、名古屋支部の支部委員でもありますし、一昨年からリニア・鉄道館で開催している写真展の担当も務めています。それにもかかわらず、蒸気動車ホジ6014号の文化財化活動に関して、何も知りませんでした。

地元の名古屋支部でも、それに関する行事や活動、情報発信などは特になかったと思います。会員の皆様にも関心を持ってもらえる取り組みに協力できなかったことを大変申し訳なく思います。

深見代議員

回答 車両保存については当会は文化庁の活動を支援する立場で行っていますので会として動向等を公表することは行っておりません。

質問：かつて存在していた鉄道趣味顕彰（エバーグリーン賞、グローリア賞、シルバー賞）を復活していただきたい。

保存活動等、鉄道趣味に貢献する活動についていろいろと努力している（例 くらうどファンディング、ネットでの募金による資金調達）団体が多く、そのような団体を顕彰する賞もあった方が良くはないか。

回答 鉄道趣味顕彰については多々問題があったため中止した歴史があります。当面復活は考えておりません。

組織関連

質問：前回の機構改革で支部の独立性が高まったのは事実である。反面、本部と支部の関係は希薄になったと感じる。会創立以来の支部制度だが、あまり関係性が低下すると独立論にも繋がる。支部だけに参加したい、という会員が少なからずいることは、本部も認めているところである。改革から15年が経過しており、会員数減少、一部支部の消滅を含め、この間の経過を総括し、制度の見直しを再検討する時期にきているのではないか。

斉藤代議員

回答 14年を経過した機構改革を総括する目的で、メリット・デメリットの抽出は断片的に行っています。本部と支部・研究会との関係を整理して、その現況を今年の定期総会後の情報交換会の際でも報告させていただきました。各支部・研究会からの報告の中でも機構改革後の課題や良かった点等を出していただければと思います。

質問：本部と支部のコミュニケーション強化は大切ですが、これ以上に支部間や支部と研究会のコミュニケーションの強化も必要と考えられます。同じ撮影会を複数の支部が同時に鉄道会社に申し込んだ場合などの「撮影会ルール」を策定できないでしょうか。

松嶋代議員

質問：支部、研究会の行事が重複した場合、本部からコントロールできるようなシステムにできないでしょうか。 兵頭代議員

回答 撮影会等の行事における地元支部等との調整については、鉄道事業者に迷惑を掛けることについては絶対に避けなければならない、窓口を一本化する。本部・支部研究会間のコミュニケーションの強化を図り、地元の支部等を最優先することを3月開催の理事会で審議・確認しています。また参加会員の満足度を高めるためには、募集時に開催内容をできるだけ詳細に告知する必要があると思います。そのためには事業者との綿密な事前打合せ等が重要であることは間違いありません。3月の理事会での確認事項をも踏まえて、撮影会等の開催手順書(ルール)のたたき台となる案を作成することも確認されています。

質問：まず、2018年12月須田書簡について、理事会ではどのような議論がなされたのか、議事録からは見えないので説明してほしい。須田書簡の物心両面の支援の“心”が(2)一エ)コミュニケーションの強化に表せたと思うが、従前何も行われていない事柄をどのように強化するのか教示されたい。 中村代議員

回答 鉄道友の会活性化の担い手は支部・研究会に所属する会員という認識から支部・研究会向けの支部報等の原稿として、会長にお願いしたもので、各支部・研究会にお送りしました。内容に関しては特に依頼せずにお願ひしました。須田会長の支部・研究会所属会員への熱い思いとしてご理解を頂きたいと思います。

質問：第3号議案(3)一ア)が須田書簡の“物”だと思うが、具体的には地方の50人規模の弱小支部にどのように反映させるか具体策を教示されたい。

新潟支部では須田会長のご意向を受け、2017年度2回、2018年度1回支部支援金の交付を受け、地元講師による講演会を開催した。地元人脈を頼りに沿線自治体、報道機関、三セク鉄道などの協力もあり、50人規模ではあったが、盛況のうちに開催できた。あの交通新聞にも1地方支部の支部行事の案内を掲載していただいたことに感激したしだいです。しかし、支部支援金は予算総額の3分の1ほじょでしかありませんでした。3分の2を持ち出し、身銭を切っても新たな仲間づくりをする発想にはなかなかならないことで、補助率アップを要望する。それと講師謝金の支給基準を示して欲しい。鉄道友の会では、この基準でお願いしているということで講師依頼しやすい。

中村代議員

回答 多くの異なる支部・研究会対象のため、内容を提示いただいて事前審査が基本に

なります。

質問：3000名を守ろうとする姿勢を批判するつもりはありませんが、「数＝力」は昭和時代の論理、平成の間は中身を伴って初めて数が力となりました。この先令和の間は構成員一人ひとりの「質」が問われるようになると見込まれます。ますます進む少子高齢化がその根拠です。会員一人ひとりが会の活動に積極的かつ自発的に参加でき、個々の能力が存分に活かされるような体制と雰囲気醸成を求めますが、ご意見を伺います。
平野代議員

回答　ご意見の通りと思います。我々の力不足です。平野さんの良いお考えがあればぜひお示してください。

質問：社会が当会に求めるニーズに合わせて行うべきことは、ニーズに応えられる人材の育成ではないでしょうか？具体的には鉄道に関する写真等の記録が整理保存できていて、社会（公的機関やマスコミ等）の要請があれば、それに迅速的確に応えられる人材を育成するための方策を検討すべきではないでしょうか。
真鍋代議員

回答　ご意見として承りました。

質問：若年層への鉄道友の会への入会促進、あるいは認知度向上に向けての一環として、大学、高校の鉄道研究会などとの交流を深める取り組みは考えられないでしょうか。具体的には、会誌・機関誌の相互交換、学園祭など大学・高校鉄研のイベントに鉄道友の会関係者が訪問する、大学・高校鉄研の学生を鉄道友の会イベントに招待する、などの取り組みが考えられると思いますが、この点いかがお考えでしょうか。　前田代議員

回答　ケースバイケースで考えたいと思います。具体的なご提案があればぜひ出していただければ幸いです。

質問：全体的に会員の高齢化が進んでいるようだが、友の会全体での状況はどうか？それに対する本部の対策をお聞かせ願いたい。　日下代議員

回答　平均年齢56.9歳　増加傾向です。何に対する対策なのか具体的にお示しいただければと思います。

質問：現在の代表会員制度について　現状では、一般会員の意見等が本部や総会なので、伝わりにくい状態となっている。以前のようなすべての一般会員が意見を伝えやすいよ

うに、以前のような制度にもどすべきではないか？

総会への出席も一般会員は傍聴のみで、意見を言うことができない。

総会に参加する意思のある会員は、会の運営等について、それなりに意見をもっているものと思われるが、代表会員とのつながりが無いと思われる。そのような会員からの意見をとりいれらるるよう制度改革をお願いいたします。 古屋代議員

回答 ご意見として承ります。代議員の皆さんができるだけ一般会員からの意見の吸い上げをお願いしたいと思います。

質問：制度・規定類の整備見直し検討について、賞罰規定を設ける考えはないのでしょうか。鉄道友の会の発展に貢献した支部や会員を表彰したり、反対に鉄道友の会活動を妨害するなどした会員を処分する規定が必要ではないでしょうか。 松嶋代議員

回答 現時点では考えておりません。

質問：今年度より、全代議員のメールアドレスを登録されるとのことで、本部と支部を始め、代議員とのコミュニケーション強化とスムーズな運営に繋がる事を期待致します。この件について、議案書には記載されていませんでしたが、運営計画の具体案として提示しても良いのではないのでしょうか。 原代議員

回答 ご意見ありがとうございます。ツールとして活用しコミュニケーションの活発化を図りたいと思います。

質問：正会員、家族会員の減少が昨年止まり今のところ3,000名台は維持されておりますが、正直油断は出来ない数字であると考えております。昨今の情勢から、鉄道趣味が一般的になり趣味人口は増えていると考えられますが、今後の会員数増加に向けて現在本部として行っている取り組みがあればご教示頂きたいと思っております。 榎木代議員

回答 会員増に益すると思われることは可能な限り対応しているつもりです。榎木さんの良いご提案があればぜひご提示ください。

編集関連

質問：私は去年の総会の事前質問で、鉄道ピクトリアル臨時増刊号「鉄道車両年鑑」が刊行されなくなったことに関連して質問し、「当会での刊行について多方面から検討したい」とご回答いただきました。今回、2018年度運営報告にも2019年度運営計画案

にも、それについて特に触れられていないようですが、その想いは変わりません。
当会ならではの魅力的なコンテンツを創り出すために、私たちにも協力できることはないでしょうか？

深見代議員

回答 当会の魅力的なコンテンツの創出について、協力も含めてご提案いただきありがとうございます。

当会の現在の予算や運営体制では、鉄道専門の出版社で発行を断念した書物を制作することは残念ながら無理な状況と云わざるを得ません。

ただし、「鉄道車両年鑑」の制作に関わる作業手順や全体の業務量を大体把握している会員がいますので、刊行の可能性について引き続き検討したいと思います。

また、本件についてのご協力の申し出に感謝いたします。「鉄道車両年鑑」に掲載されていたような記事や写真を RAILFAN へ投稿していただくことが、まず第一歩かと思えます。実績を積み上げることが、次のステップへつながると考えています。

質問：機関誌「RAIL FAN」誌への投稿でボツになるのが多い。ボツにするのはいいのですが、「このようにしなさい」など指導を出来ないでしょうか。

松嶋代議員

回答 トピック等で複数の会員から同一内容の投稿（重複）や、類似内容の連続投稿等のケースについては、記述内容や分量などを勘案して1件だけを掲載しています。短期的なトピックの場合、重複投稿等が発生する可能性が高いため、半年や1年単位で動向をまとめていただいた方が掲載されやすくなり、紙媒体の特性からも望ましいと言えます。

質問：各支部の行事報告等は RAILFAN 内の JRC だよりに紹介され各支部の活動が分かります。でも支部紹介報告があってもいいのではないのでしょうか？ RAILFAN に1ページ程度の支部内容を掲載して欲しいと思うのですが。支部があつての鉄道友の会だと思っ

山岸代議員

回答 RAILFAN における研究会・支部の紹介については、2019 年度中に連載を開始できるように準備を進めています。

質問：RF の PDF 化などによって、会費の圧縮をおこなうべきではないか
ネット環境が整ってきた現状では、紙媒体の RF について、希望する会員には、PDF によるネット配信に変更して、会費の圧縮を行ってみてはどうか？
紙媒体の RF だけでなく、会員によっては PC などの電子的媒体を希望している会員も多いと思われる。これからの新しい方向性として、ネットの活用は大切である。

現在の友の会は、ネットの活用がかなり遅れているとしか思えない。これでは時代から取り残され、新たな会員の獲得には繋がらないと思われる。

もっと、一般社会の流れに敏感となり、改革を行っていくべきではないか。 古屋代議員

回答 RAILFAN の PDF 化については、以前にもご提案があり具体的に検討したことがあります。技術的には問題ありませんが、配信するには著作権の問題を解決する必要があります。

ネットの活用については、ご意見の通り重要と認識しています。

まず、著作権に抵触しないコンテンツの電子化などで経費圧縮を図ることを検討したいと思います。

質問：昨年の当方からの質問に関し、1件【1-28】については早速ご対応いただき、ありがとうございます。他3件【1-8, 20, 34】について、いずれも「今後の検討課題」「検討課題として考えたい」「検討してみたい」とのご回答をいただいております。その後、ご検討はいただけましたでしょうか。また、ご検討いただけたならば、結果についてお知らせください。 斉藤代議員

参考：昨年の質問および回答

【1-34】

質問：「RAILFAN」の原稿料について、近年、所得税+復興税が（元々の原稿料額から差引く形で）源泉徴収されるようになった。そのこと自体に異論はないが、外注している同紙の「編集費」は、税額を予め上乗せして、手取りが少なくならないようになっているようだ。一般的にも、原稿料や出演料等は手取り額で取引されるので、統一すべきと思う。 （斉藤 凌代議員）

回答：編集費は、諾成契約として手取り金額を支払うため源泉徴収税+復興特別税分を付加しています。原稿料については、総額の抑制もあり税額分の付加を見送っていましたが、ご意見について検討してみたいと思います。

回答 2018年度は発送業者の値上げ等があり、経費の総額抑制の観点から前年度と同様に税額分の付加を見送りました。

情報関連

質問：ホームページ以外のソーシャルメディア（Twitter や Instagram 等）を活用した情報発信について、具体的な方策がありますか？ また、ご検討の予定はありますか？

金子代議員

回答 現在、Twitter と Facebook に公式アカウントを設置していますが、会員向けに「予告・お知らせ」「報告」の投稿があったことを自動告知することを主目的に運用しています (RSS フィードの置換)。当初はこれらの SNS を活用して、会員間の情報交換の場とすることを目論見ましたが、SNS を積極活用している会員と、SNS に全く接しない会員との認識にあまりにも差があり、二極分化が進んで会務に悪影響が出るのが予想されました。会の年齢構成から考えて、情報交換ツールとしての活用は数年先であろうと考えます。外部向け情報発信ツールとしての活用は、いわゆる「炎上」などへの対応といった管理体制を十分に構築できないため、積極的に進められていません。適切に管理・発信していただける方がおられれば、ぜひお力を拝借したいと思います。

質問：SNS 上の表示の仕組みについて FACEBOOK では



上記のように(左)1つの案内が URL と会員ページで紹介されている場合と(右)九州支部の報告と、札沼線の撮影会が同時に紹介されている場合があります。どちらかに統一できないでしょうか。 兵頭代議員

回答 当初は Twitter の投稿を Facebook に自動転送できていましたが、2018年8月からそれができなくなり、担当が逐一コピー&ペーストして転送しています。作業はテキストを貼り付けるだけですので、当該現象は Facebook 側の仕様とされます。扱いが難しい Facebook アカウントは今後廃止したい考えです。